春光台公園の遊具改修について

ASAHIKAWA CITY

春光台公園の遊具改修について

（１）経過説明
・これまでの経過
・遊具アンケート結果（Ｒ５実施）

（２）R7調査結果
・他都市事例（信州スカイパーク）
・健全度調査

（３）再整備案（素案）
・風の子館（改修案）
・森のかくれんぼ（整備案）

（４）今年度の取り組みとスケジュール
・遊具アンケートの実施
・スケジュール（予定）



風の子館（改修案）



森のかくれんぼ（整備案）

（１）経過説明

ASAHIKAWA CITY

これまでの経過①

春光台公園の遊具エリア



宝くじ遊園（風の子館）

自由広場（工事中）







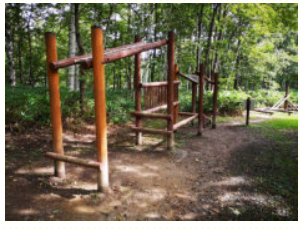
幼児広場





アスレチック遊具









これまでの経過②

・平成６年　　**春光台公園宝くじ遊園「風の子館」の供用開始**

・令和５年５月　**「全面使用禁止措置」**
※供用開始３０年が経過、木製部分の腐朽・老朽化

・令和６年１月　春光台公園宝くじ遊園「風の子館」、解体・更新の整備方針
「森のかくれんぼ案」を選定

※主要部材の劣化度、現安全基準への未適合、今後の維持管理費など総合的に判断

※近隣幼稚園や小学校等で新遊具案のアンケート調査、春光台公園運営協議会での意見交換、旭川市緑の審議会での審議、市のホームページでの意見募集を踏まえて選定



風の子館の全景

・令和７年３月　**「風の子館の存続を求める要望書」の提出**
※風の子館の存続、再活用を求める市民要望

・令和７年６月
～令和８年３月　「春光台公園遊具改修方針検討業務」
※当初のデザインを生かしつつ、予算にあわせてどの範囲まで改修可能か検討、改修案を作成

遊具アンケート結果（Ｒ５実施）

選定

第1案　森のかくれんぼ	第2案　わくわく動物ランド	第3案　風の冒険タワー
		
コンセプト 遊具全体にはたくさんの生き物たちが隠れています。体格や能力によって、まだできないアイテムがある子供もかくれんぼの鬼になった気持ちで、生き物たちを「探す」とういう親子で楽しめる遊具です。 大きな木を中心に広がる各アイテムは、力強い根っこをイメージしています。 体力や力に合わせた「挑戦」ができる飽きのこない構成となっています。	コンセプト 子どもたちは，みんなで動物になって遊ぼう！動物の特徴や動きをヒントにした遊びをもりこんでいるよ！シカになったり，モモンガになったりして遊ぼう ■エゾシカ：崖を軽々と登って行くエゾシカのように，簡単なものから難しいものまで用意された登り遊具にチャレンジしよう！ ■エゾモモンガ：エゾモモンガのように空中の滑空機敏を安全なトンネルで味わおう！ ■エゾリス：木の上でほとんど過ごすというエゾリスの様に樹上を駆け巡って遊ぼう！ ■ひぐまのお家：ヒグマの親子のシンボルプレート	コンセプト ワクワクがとまらない！みんなで一緒に遊んじゃおう！「風の子館」から風を連想させるアクセサリーや木製遊具のようなアースカラー仕様で既設遊具の楽しさを踏襲しつつ、新たな楽しさとして巨大なタワーから伸びるカラフルなスライダーで子供たちの好奇心や、挑戦心をかき立てます。 あらゆる場所にステップやクライムアイテムを設置することで、回遊性にも優れており、何度でも楽しめます！ らせん構造で最上階まで誰でも簡単にアクセスできます。自然豊かな広大な敷地を誇る春光台公園の新たなシンボルとなる遊具です。

（２）R7調査結果

ASAHIKAWA CITY

他都市事例（信州スカイパーク）①



信州スカイパークの全景



位置図

屋根付き遊具の構想は風の子館が初めてであったが、最初に整備されたのは、１９９３年に長野県松本市で開催された信州博覧会での信州博アルピコ広場の木製大型遊具が先であった。
本遊具も㈱環境デザイン研究所による設計で、3層の円環構造となっており、一周80mの屋根付き遊具である。遊びながら風の音、鳥の声を聞き、松本市の四季の星空をオープンプラネタリウムで見られるような工夫がされるなど、自然発見遊具として構想された。

【当初整備費】
・130,000千円

【改修費】
・148,350千円

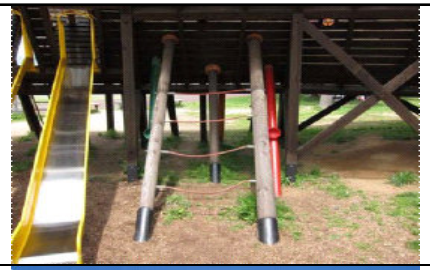
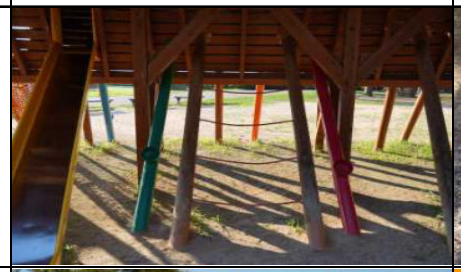
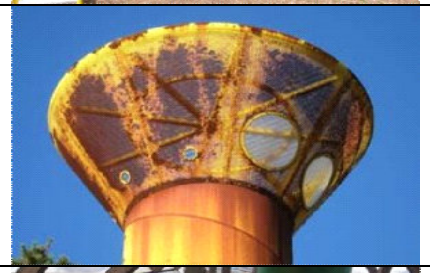
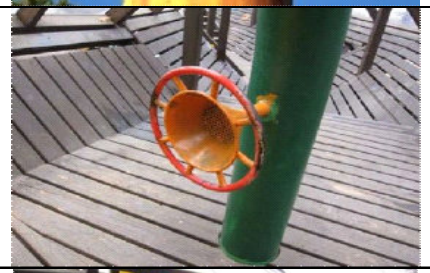
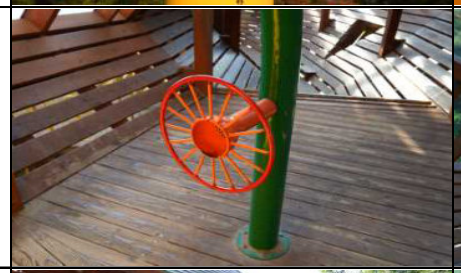
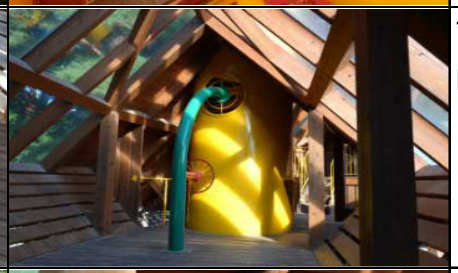
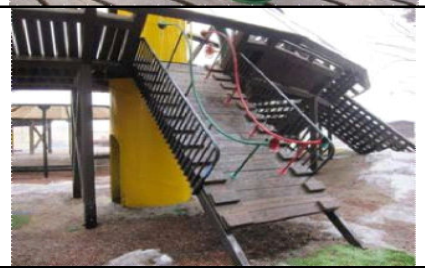
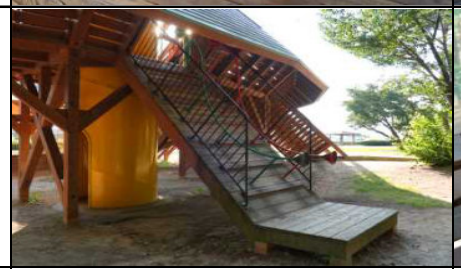
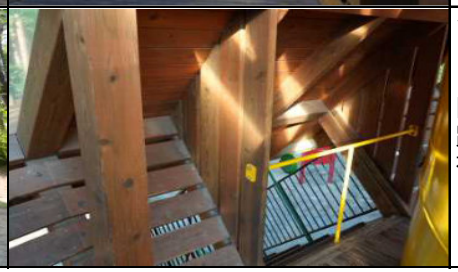
【施設規模】
・延べ面積約392m2

【建て替えまでのプロセス】
・2010年度　：遊具の長寿命化計画策定
・2011年度　：公園内遊具の概略設計
・2012年度～：詳細設計付き工事として発注

【改修内容】
・構造部材は木材（防水対策あり）
・構造計算に基づいた部材の設計
・遊具の安全規準への適合
・幼児用遊具広場の新設

他都市事例（信州スカイパーク）②

類似施設事例（信州スカイパーク）改修内容の抜粋

番号	建て替え前	建て替え後1	建て替え後2	改修内容
5				ロープラダー （A4-A5） 木柱地際腐食のため 防水処理
6				丸筒の塔1 （A10-A11） 安全基準不適合 頭部・胴体・指の挟み込み、手すり高さ不足、基礎露出） ポリカ窓・屋根設置、隙間埋め、保護マット設置
7				伝声管（A9-A10） 同等形状で更新
8				クライミングデッキ、伝声管 （A10-A11） 同等形状で更新 踊り場設置、足掛け板延長、上部袖壁設置

健全度調査

調査結果の概要

点検実施日：2025年7月15日
実施体制　：日本公園施設業協会加盟業者による詳細点検

・調査の結果、複数個所に最も評価の悪い**劣化判定D**となる「**最重要部材に重度の劣化がある状態**」が見られ、「**使用不可**」との結果となった。

・**ハザード判定**においても、最も評価の悪い**ハザード3**と判定され、「**生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な傷害をもたらす状態**」である。

・最も指摘が多い項目としては、劣化判定においては鋼材及び木材の腐朽･腐食であり、ハザードにおいては挟み込みによるものが多い。

健全度判定結果

複合遊具	判定	内容
総合判定	D	最重要部材に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要（使用禁止）
ハザード判定	3	生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な傷害をもたらす状態
劣化判定	D	最重要部材に重度の劣化がある状態
塗装部分の総合判定	C	全体的に塗装が必要
使用可否	不可	

健全度調査の実施状況


点検写真台帳

公園	999	春光台公園	エリア		点検日	2025年7月15日
施設	0	複合遊具	総合 D	劣化 d	ハザード 3	ページ 1/30

写真No.	全景写真	判定
1		

写真No.	落下高さ測定 2450mm	判定
2		

写真No.	安全領域　落下高さ600mm超える時、全方向1,800mm以上。半分領域重複可 1240/1800 1240	判定
3		否 2

写真No.	安全領域　すべり台　滑り降り口方向は2,000mm以上。全領域重複不可 2000以上 2000以上	判定
4		合

写真No.	安全領域　すべり台　滑り降り口方向は2,000mm以上。全領域重複不可 2000以上 2000以上	判定
5		合

写真No.	安全領域　コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない　アスファルト	判定
6		否 3

（３）再整備案（素案）

・風の子館　　（改修案）

・森のかくれんぼ（整備案）

ASAHIKAWA CITY

再整備案の比較検討



内容	概算費用(千円)
改　修　費	181,000
部材の交換、塗装費など36年間にかかる維持管理費（最終的な撤去費含む）	153,000
合　計	334,000

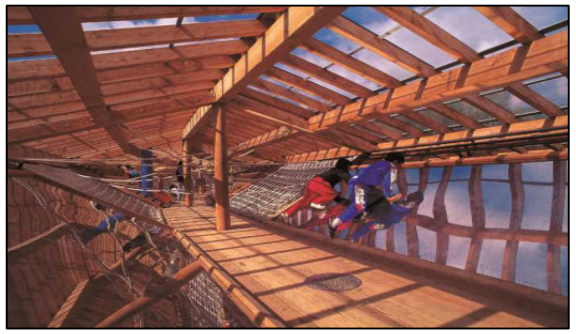
評価項目	風の子館
遊び空間	・“遊環構造”を有する飽きにくい遊び空間のため、チャレンジ性や達成感を感受しやすい ・集団的な遊びにも適しており、社会性やルールを学べる
	◎
周囲との調和	・背後に広がる樹林地との一体感があり、木材や石材など様々な自然素材が使用されている ・オーダーメイドの遊具のため、特徴的なフォルム・デザインで、ランドマークとしての機能を有する
	◎
コスト	・オーダーメイドの遊具であるため、部材交換や塗装の費用が割高 ・鋼材と比較し、耐久性が低い木材を多く使用 ・木材に代わる再生木材を使用しにくい
	△
安全性	・既存施設の改修のため、全てのハザードの解消は難しい ・緊急時に保護者が迎えに行きにくい
	△



内容	概算費用（千円）
整　備　費	181,000
部材の交換、塗装費など36年間にかかる維持管理費（最終的な撤去費含む）	53,000
合　計	234,000

評価項目	森のかくれんぼ
遊び空間	・遊びの5つの基本行動が適度に盛り込まれている ・ウェイビー(滑り台)、レールウエイなど特色ある遊具はあるが、集団的な遊びより、個々の遊びが重視された仕様
	△
周囲との調和	・周辺と調和する配色を採用しているが、木材や石材などの自然素材が活用されていない。 ・製品化された一般的な複合遊具であるため、ランドマークとしての期待は、風の子館と比べ少ない
	△
コスト	・遊具パーツは全て製品であるため安価 ・部分的な交換に対応しやすい ・耐久性がある鋼材を多く使用 ・部材の交換、塗装費など36年間にかかる維持管理費（最終的な撤去費含む）は風の子館と比較して3割程度安価
	◎
安全性	・全ての部位について現行の安全規準を満たす
	◎

風の子館（改修案）①



概要

・風の子館は、旭川市の春光台公園に整備された日本で初めて構想された木製屋根付き大型遊具。
・冬の長い雪国のあそび場として大きな屋根を持ち立体的遊環構造建築で、オールシーズンあそべる遊具として開発。
・設計は、子どもの遊び環境づくりで全国的に知られる建築家・仙田満

※仙田氏の主な実績として、茨城県のミュージアムパーク茨城県自然博物館や広島市のMAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島、東京の東京辰巳国際水泳場などがある。

デザインコンセプト

【建築的な要素を取り込んだ遊具空間】
・屋根、壁、床、部屋等を有しながらそれを遊具的にくずしていった空間に新たな遊びの要素を見いだす。

【道の延長線としての遊具（道の遊具化）】
・他の施設や林、あるいはエントランス広場からの園路がそのまま遊具になってゆく配置。
・遊具を道の一部としてとらえることにより、遊具と公園全体をより自然な形で一体化させる。

【豊かな自然環境を感じ取るための遊具】
・豊かな自然環境の中で子どもたちが風や空、鳥や虫の声、大地といったものを再認識できるような遊具。

その他

・風の子館は、財団法人 日本宝くじ協会により、宝くじの収益を財源とした社会貢献事業で整備された遊具広場。
・1988年度から毎年全国で１箇所程度選定される「宝くじ遊園地造成事業」として、道内で初めて整備され、市に寄付された。
※現在は「宝くじ遊園地造成事業」の新規募集は行っていない。

【1994年（平成6年）当時】
建設費(寄附)　：約1億6500千万円（風の子館）

風の子館(改修案)②

1　施設健全度調査結果

①劣化判定
- C･D判定項目の4割程度が腐食･腐朽、屋根下空間は比較的良好、雨掛かり露出部材の腐朽及び鋼材の腐食の進行

②ハザード判定[子供が予測できず､どのように対処すればよいか判断不可能な危険性の判定]
- 全体の６割が現行基準に不適合。動線の交差や挟込み等の規準によるものが多い

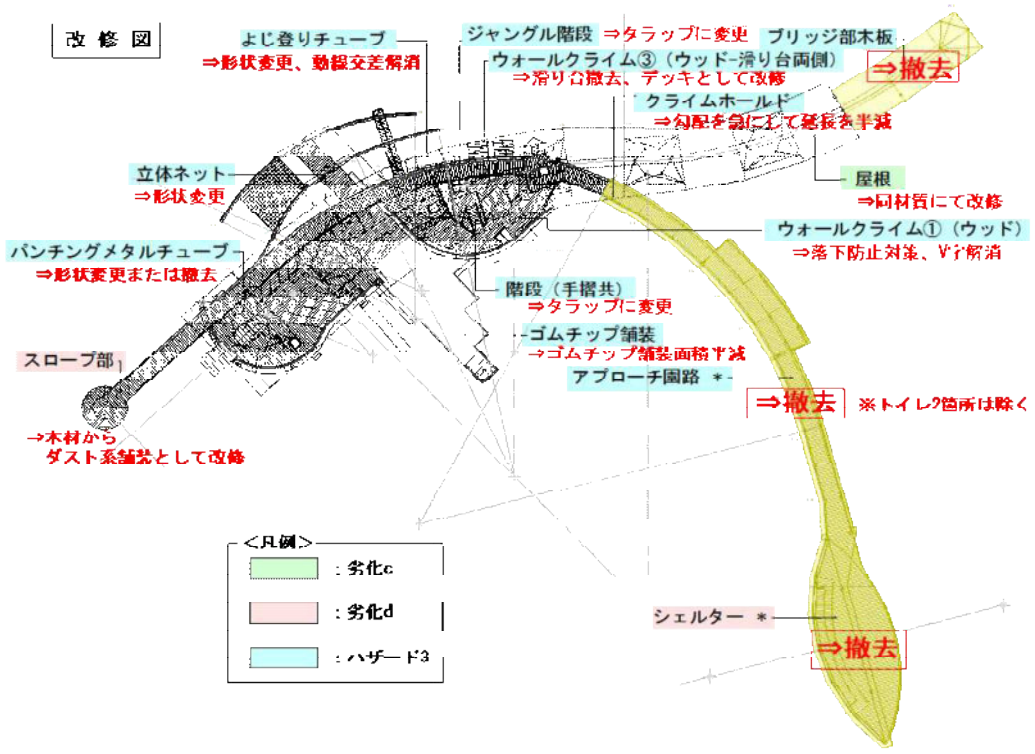
③総合判定
- 劣化判定とハザード判定を踏まえた総合判定はD判定、使用禁止措置が必要な遊具

2　改修方針

- ハザードの除去、劣化部の更新または補修が必要、広範囲のため改修の優先度を設定
- 日本初の屋根付き遊具、遊具としてだけでなく建築物としても財産として保存すべきなどの要望を踏まえ、解体ではなく、改修費用の縮減、現状デザインを保持した改修

3　改修案

- 塔、塔に近いブリッジ部分、アプローチ通路・シェルターを撤去及びハザード3及び劣化dの改修。概算工事費は、181,000千円



風の子館優先改修項目による概算工事費一覧（R8.8月現在）

規準・劣化判定	概算費用(千円)	備　考
ハザード３改修	74,000	
劣化ｄ改修	41,000	171,000
劣化ｃ改修	56,000	
撤 去（改修時）	10,000	シェルター、ブリッジ等
概算工事費	181,000	経費込み

ライフサイクルコスト（LCC）検討　[処分制限期間15年×2.4=36年間による試算]

項　目	概　算	備　考
改修費	181,000	
維持管理費	129,000	ネット類の交換、塗装費など
全撤去	24,000	36年目
合計費用	334,000	整備から撤去まで36年間でかかる費用
単年度当りLCC（使用見込み期間36年）	9,300	処分制限期間15年×2.4=36年 334,000千円/36年≒9,300千円/年

森のかくれんぼ（整備案）①













概要

- 令和５年度に地域の小学校や幼稚園、町内会にアンケートを実施し、その結果を踏まえ、春光台公園運営協議会にて意見等を伺い選定した遊具。
- 様々な遊びの要素がある児童用(6-12歳)コンビネーション遊具。
- 最大滑降角度45度のまるでフリーフォールのような体が浮く感覚を感じられる滑り台と、カーブで感じる遠心力が魅力の1周約25mあるレール

※左の写真は「森のかくれんぼ」と類似施設が設置されている群馬県前橋市にある嶺公園

デザインコンセプト

- 遊具全体には、たくさんの生き物たちが隠れており、体格や能力によって、まだできないアイテムがある子供もかくれんぼの鬼になった気持ちで、生き物たちを「探す」という親子で楽しめる遊具。
- 大きな木を中心に広がる各アイテムは、力強い根っこをイメージしており、体格や力に合わせた「挑戦」ができる飽きのこない構成。
- その独特の景観から、公園の新たなシンボルになり得る可能性を秘めた遊具。

森のかくれんぼ（整備案）②

1 【計画立案までのプロセス～市民合意形成】

・改修計画の立案について、３案を検討、周辺町内会、近隣の小学校等へのアンケートのほか、市民団体等で構成する「春光台公園運営協議会」に意見を伺い、児童用複合遊具（森のかくれんぼ）を選定、地域住民に対する合意形成が図られた計画。

2 【周辺景観との調和～材質及び配色選定】

・耐久性の良い、鋼材やポリエチレンを主とした構成、財政面や長寿命化計画を踏まえ、耐久性が高く維持管理の負担が少ない。

・柱や梁などの主要構造部材は、鋼材の外側に化粧材を施す方法や木材や再生木材などを使用し周辺環境と調和。

3 【配置計画～遊び空間の広がりと連続性】

・公園内の周辺施設と一体的な利用を促す動線の確保、森のかくれんぼから派生した様々な遊び空間（かけっこや鬼ごっこなど）の創出。

・保護者が安心して子どもたちを見守れる休憩スペースや集散スペースなどを確保。

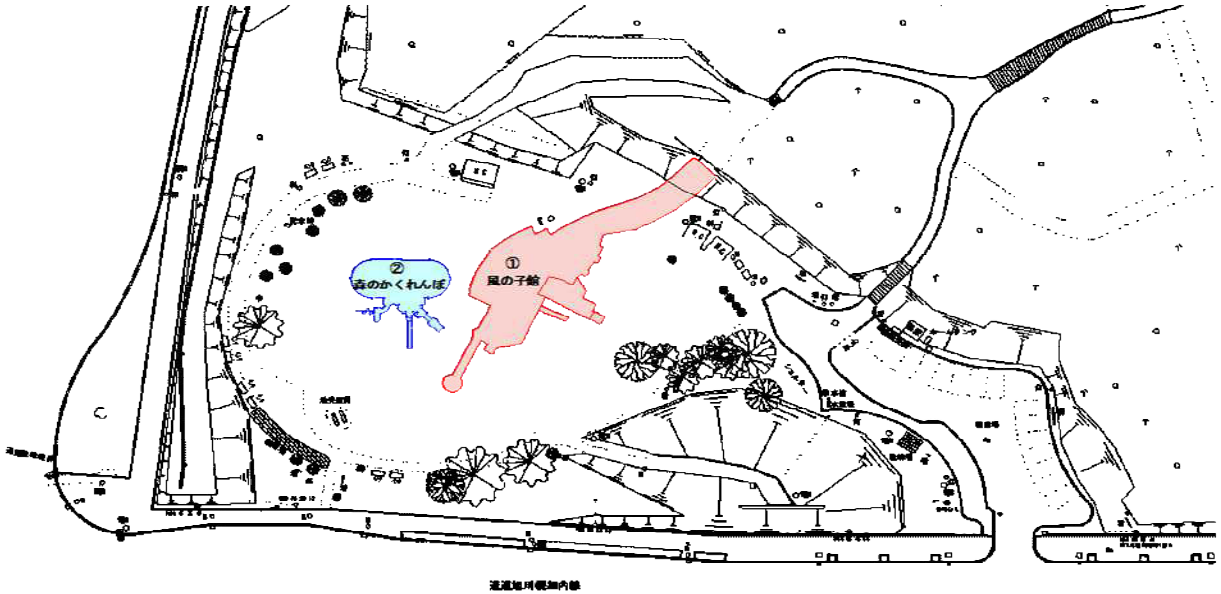
4 【オリジナル性～他公園遊具との差別化】

・全て製品パーツを使用して、遊具メーカーの高いノウハウを基に制作、コストの低減化をはじめパーツ交換の円滑化が可能。

・既存の風の子館はオリジナルティが突出した遊具、これに代わる遊具として、コストや維持管理などを踏まえつつ、ランドマークとなり、長く市民に親しまれるよう配慮。

森のかくれんぼ　整備費（R8.8現在）

規準・劣化判定	概算費用(千円)	備　考
撤去(風の子館)	34,000	
設置(森のかくれんぼ)	147,000	
概算工事費	181,000	経費込み



ライフサイクルコスト（LCC）検討　[処分制限期間15年×2.4=36年間による試算]

項　目	概　算	備　考
改修費	181,000	
維持管理費	43,000	ネット・ロープ、レールウエイ滑車等の交換、塗装費
全撤去	10,000	36年目
合計費用	234,000	整備から撤去まで36年間でかかる費用
単年度当りLCC（使用見込み期間36年）	6,500	処分制限期間15年×2.4=36年 234,000千円/36年≒6,500千円/年

（４）今年度の取り組みとスケジュール

ASAHIKAWA CITY

遊具アンケートの実施①

1　アンケート手法

ユーザーである「子ども」を主な調査対象としたアンケートを実施
複数の質問について、どちらかが良いか選択する方式

2　アンケート対象

前回(R５年度)「森のかくれんぼ案」選定時にアンケートを依頼した近隣の小学校、幼稚園・保育園、町内会等を対象とする。

※小学校においては、タブレットが普及していることを踏まえ、従来の紙での回答のみではなく、インターネットを活用した回答も併用して行う予定。

3　「質問項目（案）」について

（1）考え方
- 「子ども」向けのアンケートのため、難しい言葉ではなく、直感的に答えられる質問項目を設定
- 設問ごとに評価の視点を明確にすることで、子供たちが遊具に何を求めているのか把握し、様々な角度から検討する。
- 人気投票では無く、なぜ選ばれたのか、対外的に説明できるよう「評価の視点」を考慮した設問設定とする。

※町内会には、大人を対象とし「子どもに遊ばせるならどっちの遊具にしたいか」という視点での回答を依頼

（2）配点
- 子どもの遊びに対する「遊具の役割」を踏まえ、点数に傾斜配分を設定
- １人１０点とする（「質問項目（案）」配点欄 参照）

アンケート用紙（例）

～今回のアンケートについて～
・３年前に春光台公園の大きな遊具「①風の子館」は古くなって壊れて使えなくなりました。
・２年前、直すのが難しいと思い、アンケートなどを行い、新しい遊具「②森のかくれんぼ」に取り換えることを考えました。
・その後、「①風の子館」を残してほしいという声をたくさんいただきました。
・その声をきいて、一部を壊しますが、なるべく「①風の子館」を残す方法を考えました。
↓
あらためて、みなさんの声をきかせてほしいので、アンケートへのご協力をお願いします。

それぞれの質問について、「①風の子館」・「②森のかくれんぼ」のどちらか一つ、えらんだほうに○を書いてね

・小学校、学年　　〇〇小学校　〇年　〇組

・年齢構成：年代別
※□にレ点を書いてください　□10代以下 □20代 □30代 □40代 □50代 □60代 □70代以上

「質問項目（案）」

番号	質問内容	評価の視点	①風の子館	②森のかくれんぼ	配点	①風の子館	②森のかくれんぼ
1	わくわくするのはどっち？	第一印象・魅力		○	1点		1
2	チャレンジしてみたいのはどっち？	挑戦性		○	1点		1
3	何回でも遊びたくなるのはどっち？	遊びの継続性		○	1点		1
4	友だちといっしょに遊ぶのが楽しそうなのはどっち？	社会性		○	2点		2
5	いろいろな遊び方ができそうなのはどっち？	創造性・遊びの多様性	○		2点	2	
6	公園にあったらうれしいのはどっち？	総合評価	○		3点	3	
合計					10点	5	5

遊具アンケートの実施②

アンケート（案）

ASAHIKAWA CITY

春光台公園の遊具について、みんなが遊ぶならどっちがいいかな？

アンケート用紙

① 風の子館

○なまえのいみ

豊かな自然のもと、風のふくなかで元気に遊ぶ子どもの館という意味があるよ。

○つくりかた

お父さんお母さんが子どものころ遊んだ遊具を使えるようにするよ！



○すごいところ

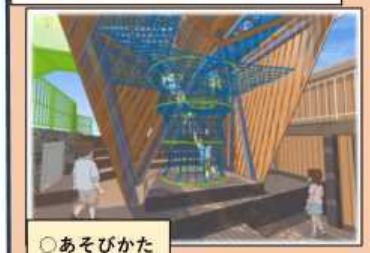
仙田満先生という有名な建築家の作品だよ！

○おかねはいくらかかるの？

直してから使えなくなるまで(36年間)で予想されるお金は３億３４００万円だよ。

○とくちょう

木でできていて、屋根があって、雨の日にもぬれないで遊べるよ。





○あそびかた

ロープのジャングルやネットのゆかがあって、アスレチックのようだよ。かくれ家みたいに遊べるよ！





② 森のかくれんぼ

○つくりかた

今の遊具から、あたらしく、ぴかぴかのさいしん式の遊具にするよ！



○なまえのいみ

おにになって森の中でかくれている生き物を探すという意味があるよ。

○すごいところ

旭川で初めてのレールウェイがついた遊具だよ。

○とくちょう

プラスチックでできていて、かくれている生き物を探しながら遊べるよ。

○おかねはいくらかかるの？

作ってから使えなくなるまで(36年間)で予想されるお金は２億３４００万円だよ。





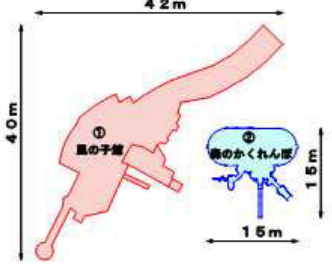
○あそびかた

大きなレールウェイで空中遊泳が楽しめるよ！ふわっと体がうくようなスリル満点の滑り台で遊べるよ！





うえからのおおきさくらべ



※がぞうはイメージだよ。

スケジュール（予定）

令和8年 9月	・第１回春光台公園運営協議会 ・緑の審議会 ・遊具アンケート実施 （調査対象：公園近隣の小学校、幼稚園・保育園、町内会）
10月	・第２回春光台公園運営協議会 ・緑の審議会 ・整備案（素案）の決定
11月	・市民意見聴取（ホームページ・SNS掲載）
令和９年 １月	・整備案の決定
２月	・第３回春光台公園運営協議会 ・緑の審議会